

※朱書き部分は変更点

## 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画体系（案） 新旧対照表

現基本計画	後期基本計画（案）
<p><b>7. 地域の振興（6）温海地域</b></p> <p>温海地域は、あつみ温泉に代表される観光資源や食文化、伝統文化、自然など多様な地域資源を有し、27 集落がそれぞれの特性を生かした活動を展開してきました。地域資源を保存し継承するだけでなく、様々に組み合わせることで新たな価値を生み出し、交流人口や関係人口の拡大につなげ、地域住民がいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。</p> <p>代表的な観光資源であるあつみ温泉については、温泉街の景観づくりや賑わいづくりを促進し、魅力ある温泉観光地をめざします。</p> <p>日本海沿岸東北自動車道（以降「日沿道」）の延伸を契機として、地域産業の活性化や鼠ヶ関地域への誘客とその周辺への経済効果を生み出せるような取組を進めます。</p> <p>豊富な地域資源を生かした体験型観光を推進し、交流人口の拡大を図ります。</p> <p>また、多様な人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。</p> <p>豊かな自然や歴史が培った農林水産資源や伝統産業を継承しつつ、温海地域独自のブランドを構築し、生産者の生きがいづくりや所得の向上を図ります。</p> <p>自然環境や地理的に不利な条件下でも、住民がいきいきと暮らし続けられるよう、集落の自治機能の維持と生活環境の維持向上、地域への愛着を育む取組を進めます。</p>	<p><b>7. 地域の振興（6）温海地域</b></p> <p>温海地域は、あつみ温泉に代表される観光資源や食文化、伝統文化、自然など多様な地域資源を有し、27 集落がそれぞれの特性を生かした活動を展開してきました。地域資源を保存し継承するだけでなく、様々に組み合わせることで新たな価値を生み出し、地域住民がいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。</p> <p>代表的な観光資源であるあつみ温泉については、温泉街の景観づくりや賑わいづくりを促進し、魅力ある温泉観光地をめざします。</p> <p>日本海沿岸東北自動車道（以降「日沿道」）の延伸を契機として、地域産業の活性化や鼠ヶ関地域への誘客とその周辺への経済効果を生み出せるような取組を進めます。</p> <p>豊富な地域資源を生かした体験型観光の推進や、多様な人材を地づくりに生かす仕組みを構築し、交流人口や関係人口の拡大による地域活性化を目指します。</p> <p>豊かな自然に生まれ、変化に富んだ地形と歴史に培われた農林水産資源や伝統産業を継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築し、地域特性を活かした農林水産業の振興を図ります。</p> <p>自然環境や地理的に不利な条件下でも、住民がいきいきと暮らし続けられるように、集落の自治機能の維持と生活環境の維持向上を図ります。また、地域への愛着を育む取組を進めるとともに次代を担う人材を育成します。</p>

現基本計画	後期基本計画（案）
<p><b>ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>あつみ温泉は、2021年に開湯1200年、2022年に湯役所設置400年と、節目の年を迎えます。温泉街の観光施設や景観、環境の整備により、「そぞろ歩き」を楽しめる環境づくりを進め、魅力ある店舗創出や誘客対策により温泉街の賑わいづくりを促進し、日沿道開通後も通過点とならないよう魅力ある温泉観光地をめざします。</p> <p>また、日沿道の延伸に伴い計画されている道路休憩施設及び既存の道の駅を活用した産業の活性化や鼠ヶ関地域の魅力向上による誘客と、周辺への経済効果をもたらす取組を進めます。あわせて、庄内浜産魚介類を活用し、漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図ります。</p> <p>○主な施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① あつみ温泉の観光資源である温海公園（あつみ温泉バラ園）や桜並木の再整備、足湯などの滞留拠点の改修や植栽の奨励による景観整備を進め、温泉街の魅力の向上を図ります。</li> <li>② あつみ温泉での集客効果の高いイベント開催を支援するとともに、朝市広場の有効活用や新規出店などに対する支援により、温泉街の賑わいづくりを進めます。</li> <li>③ あつみ観光協会や温海温泉旅館組合、地域住民、行政など多様な主体が連携し、新たな誘客につながるあつみ温泉の中長期的な戦略の検討を進めます。</li> <li>④ 計画されている道路休憩施設を地域産業の活性化につなげる体制の構築や人材の育成を図ります。</li> <li>⑤ 日沿道の延伸後において、道路休憩施設を拠点とする観光まちづくりを進めるため、既存「道の駅しゃりん」のあり方を検討し、有効活用を図る</li> </ol>	<p><b>ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>あつみ温泉は、令和3年に開湯1200年を迎えた歴史ある温泉地です。令和元年10月には市内3カ所目の国民保養温泉地に指定されており、この知名度と地域資源を生かしながら、温泉街の賑わいづくりを創出します。また、官民が連携し、温泉街の観光施設や景観、環境の整備、魅力ある店舗づくりを進め「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街として、日沿道開通後も通過点ではなく目的地となるよう魅力ある温泉観光地をめざします。</p> <p>また、日沿道の延伸に伴い鼠ヶ関インターチェンジ（仮称）やその周辺に道の駅移転整備が計画されており、鼠ヶ関及び周辺地域への魅力向上による誘客促進と庄内浜産魚介類を活用した漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図り、地域経済に効果をもたらす取組を進めます。</p> <p>○主な施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① あつみ温泉街の滞留拠点整備による魅力の向上</li> <li>② あつみ温泉の賑わいの創出</li> <li>③ 道の駅移転整備を生かした地域産業の活性化</li> <li>④ 既存道の駅「あつみ」しゃりんの利活用</li> <li>⑤ 日沿道延伸を生かした鼠ヶ関周辺の活性化</li> </ol>

現基本計画	後期基本計画（案）
<p>ための必要な支援を行います。</p> <p>⑥ みなとオアシス鼠ヶ関*の構成施設となっている弁天島周辺エリアをはじめとした環境整備など、鼠ヶ関に観光客を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進めます。</p> <p>※みなとオアシス鼠ヶ関  地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として、国土交通省が登録したもの。みなとオアシス鼠ヶ関は 2006（平成 18）年 7 月 17 日認定</p>	

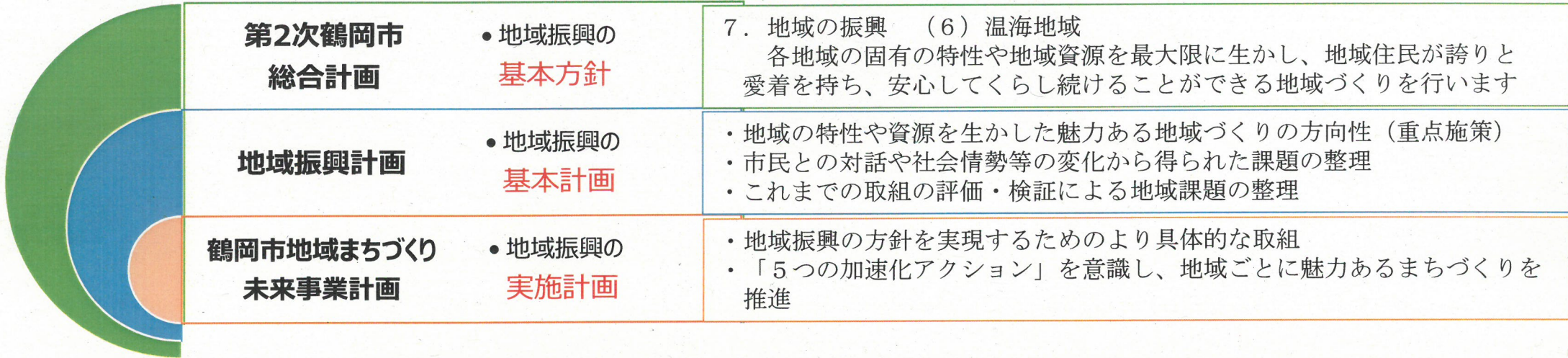
現基本計画	後期基本計画（案）
<p><b>イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>温海地域が有する豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、外国人旅行者も含めた交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。</p> <p>○主な施策</p> <p>① 体験型旅行の受け入れ拡大や交流人口の拡大に向けた取組を支援するとともに、農泊※については、受入れ者などの意向も考慮しながら環境の整備を進めます。</p> <p>② 交流人口の拡大などを図るため、関川地区活性化計画※に基づく取組を支援します。</p> <p>③ 今後も増加が見込まれる外国人を含めた旅行者の利便性向上のため、外国語表記の観光案内板や公衆無線LANなどの環境整備を進めます。</p> <p>④ 地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材が、地域を支援できる仕組みや、地域と情報交換できる仕組みづくりを進めます。</p> <p>※農泊 日本ならではの伝統的な生活体験や農村地域の人々との交流を楽しむ滞在。</p> <p>※関川地区活性化計画 本市関川地区において、しな織を活用した交流人口の拡大と地域産物の販売額増加による地域活性化を目的に2016(平成28)年4月に策定した計画</p>	<p><b>イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>温海地域が有する豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。</p> <p>○主な施策</p> <p>① 体験型<b>観光</b>や<b>教育</b>旅行の受け入れ拡大<b>促進</b>の支援</p> <p>② 関川地区活性化計画※に基づく取組の支援</p> <p>③ 地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材が、地域を支援できる仕組みづくり</p> <p>※関川地区活性化計画 本市関川地区において、しな織を活用した交流人口の拡大と地域産物の販売額増加による地域活性化を目的に2016(平成28)年4月に策定した計画</p>

現基本計画	後期基本計画（案）
<p><b>ウ 農林水産資源のブランド化</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>豊かな自然や歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドを構築し、生きがいつくりや所得の向上を図ります。</p> <p>また、貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布※」の保存、継承を支援するとともに、製品開発や未利用資源の活用など新たな取組にもチャレンジし地域振興を図ります</p> <p>○主な施策</p> <p>① 古くから栽培されている在来作物などの継承や認知度向上を図ります。また、伝統農法である焼畑については、資源循環に配慮した栽培技術の継承と再造林をあわせた取組を支援します。</p> <p>② 少量多品目でも流通できる仕組みづくり、鳥獣による農作物被害を軽減する取組を進め、高齢農業者も生きがいを持って農業を続けられる環境整備を図ります。また、地産地消の推進、産直体制の強化再編の検討を進めます。</p> <p>③ 「羽越しな布」の振興を図るため、後継者育成や経営体制の強化に向けた取組を支援します。また、未利用資源の活用や他の素材との組み合わせなど新たな価値の創造をめざします。</p> <p>※羽越しな布</p> <p>本市関川と新潟県村上市雷、同山熊田の3地域で継承されているしなの木の樹皮を原料とした織物で、伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和49年5月25日、法律第57号）に基づき、経済産業大臣より2005（平成17）年9月22日に「羽越しな布」として指定。</p>	<p><b>ウ 地域特性を活かした農林水産業の振興</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>豊かな自然や<b>変化に富んだ地形</b>、歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドと<b>持続可能な営農体制</b>を構築します。また、<b>新たな道の駅を視野に、少量多品種であっても稼げる仕組みづくりにより、地域特性を生かした農林水産業の振興を図ります。</b></p> <p>貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布※」の継承、<b>振興</b>を支援します。</p> <p>○主な施策</p> <p>① 「<b>焼畑あつみかぶ</b>」「<b>越沢三角そば</b>」等の在来作物の<b>ブランド化</b></p> <p>② 産直<b>活動組織の活性化</b>と担い手となる経営体への<b>農地集積</b></p> <p>③ <b>伝統的工芸品「羽越しな布」の振興と少量多品種の農林水産物の生産振興</b></p> <p>※羽越しな布</p> <p>本市関川と新潟県村上市雷、同山熊田の3地域で継承されているしなの木の樹皮を原料とした織物で、伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和49年5月25日、法律第57号）に基づき、経済産業大臣より2005（平成17）年9月22日に「羽越しな布」として指定。</p>

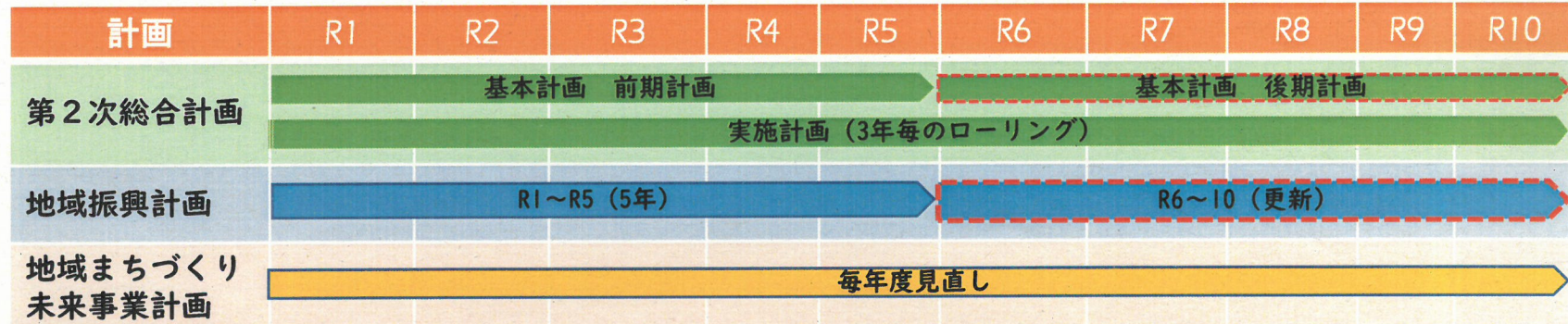
現基本計画	後期基本計画（案）
<p><b>工 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切にし、それぞれの集落が将来にわたって自治機能を維持できるように支援します。また、人口減少、高齢化を見据えた新たな情報伝達体制の構築にむけ調査研究に取り組みます。</p> <p>温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が将来にわたって暮らし続けられるよう、道路ネットワークの強化など生活環境の維持向上を図ります。また、地域への愛着を育む取組を進め、多様な主体が連携し、高齢者が活躍する場の創出や住民同士が支えあう地域づくりを推進します。</p> <p>あわせて、地域内にある遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。</p> <p>○主な施策</p> <p>① 各自治会の重要な情報伝達手段として長年使用してきた有線放送設備が老朽化し、維持管理に苦慮している現状や、人口減少、高齢化の進行などを踏まえ、地域課題解決手法として、ICTの活用を検討し、生活支援サービスも含めた新たな情報伝達システムの調査研究に取り組みます。</p> <p>② 集落の将来像を示す集落ビジョンの策定を促し、ビジョンに基づく自治機能や地域コミュニティ活動の拠点施設を維持する取組を支援します。</p>	<p><b>工 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備</b></p> <p>○施策の方向</p> <p>地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切にし、それぞれの集落が将来にわたって自治機能を維持し、<b>コミュニティ強化を図る取組</b>を支援します。</p> <p>温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が<b>安心して</b>暮らし続けるために、<b>地域に適した公共交通体系の構築やデジタル活用など</b>により生活環境の維持向上を図ります。</p> <p><b>高齢化が進む中で一体的な生活支援体制の構築や高齢者が活躍する場の創出を推進します。</b></p> <p><b>子どもたちの生きる力を育み、豊かな心を育てる教育（SEL<sup>※</sup>）や、あつみ未来塾など教育環境の充実に取り組み、子育て世代に選ばれる魅力のある地域を目指します。</b></p> <p>地域内にある遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。</p> <p><b>※SEL（Social Emotional Learning）</b></p> <p><b>社会的能力と気持ちに関わる能力を伸ばす学び。子どもの自尊心、好奇心、発想力、想像力などを高め、学力だけでなく社会で生き抜く力、豊かで強い心を育む教育</b></p> <p>○主な施策</p> <p>① 集落ビジョンの策定を促し、ビジョンに基づく自治機能や地コミュニティ活動の拠点施設を維持する取組を支援</p> <p>② 温海地域内にある<b>既存施設、遊休資産や空き家の利活用</b></p> <p>③ <b>地域に適した公共交通網の形成と遠距離通学となっている高校生等世帯に対する支援</b></p>

現基本計画	後期基本計画（案）
<p>③ 自治会単位での活動を補完し、広域的な活動や交流の拠点となっている施設について、その活用方法や管理形態を見直したうえで、施設の機能強化に取り組みます。</p> <p>④ 温海地域内にある遊休資産、特に廃校の利活用については、市場性の有無や実現性の高い事業手法について、想定される事業者との対話により検討を行い、その活用の実現をめざします。</p> <p>⑤ 路線バスの廃止など地域公共交通網の現状を踏まえ、住民の移動手段の確保を図るため、鶴岡市地域公共交通網形成計画*との整合及び地域住民との対話に配慮しながら、有効な公共交通網の形成をめざします。あわせて、遠距離通学となっている高校生世帯に対しての支援に取り組みます。</p> <p>⑥ 世代間交流などによる郷土愛の醸成に加え、健康寿命の延伸を図るため、高齢者の知恵と能力の活用など高齢者がいきいきと暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>⑦ 住民と行政、住民と多様な団体との協働や集落内共助による克雪、利雪及び親雪対策の検討を進め、生活環境を維持する取組にあわせ、雪を交流や体験観光に活用する取組を推進します。</p> <p>⑧ 介護予防活動と買い物などの生活支援を一体的に提供するサービスにより、高齢者も住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる環境を整備します。</p> <p>※鶴岡市地域公共交通網形成計画 本市の公共交通施策の基本計画。地域特性に合った効率的で持続可能な公共交通網の再構築をめざす。計画期間は 2016(平成 28)年度から 2020 年度までの 5 年間</p>	<p>④ 高齢者がこれまで培ってきた経験や能力を生かし、いきいきと暮らせる環境づくりの推進</p> <p>⑤ 生活環境の維持向上を目指した地域ささえあい活動の推進</p> <p>⑥ 保育園から学校まで一貫した生きる力を育む教育の推進</p>

## ◆地域振興策の体系



## ◆関連計画の期間



## ◆策定スケジュール (案)

計画	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
<b>第2次総合計画</b>		地域振興懇談会 ・ 後期基本計画の体系 (地域別) 案について ・ 施策の方向、主な施策 (地域別) の案について				地域振興懇談会 ・ 後期計画 (地域別) の案について ・ KPIの見直し案について		地域振興懇談会 ・ 後期計画 (地域別) の最終案について		
<b>地域振興計画</b>	懇談会委員の公募	地域振興懇談会 ・ 地域振興計画の体系案について ・ 地域の重点施策等			地域振興懇談会 ・ 地域振興計画の具体的な施策の検討 ・ まちづくり未来事業への反映について		地域振興懇談会 ・ 地域振興計画 (素案) について		地域振興懇談会 ・ 地域振興計画の策定について	



## 現 地域振興計画

### 基本方針

### 主な施策

(1)あつみ温泉の  
魅力の向上と賑  
わいの創出

- ①あつみ温泉街の景観整備
- ②あつみ温泉街の賑わいづくり
- ③魅力ある温泉観光地に向けた中長期戦略の検討

(2)日沿道延伸を  
活かした鼠ヶ関  
周辺地域の活性

- ①新「道の駅」を活用した地域振興
- ②既存「道の駅」の有効活用に向けた検討と施設整備
- ③鼠ヶ関地内の賑わいづくり

(3)自然・歴史・  
文化を活かした  
交流人口、関係  
人口の拡大

- ①交流人口の拡大による地域活性化
- ②関係人口拡大の仕組みづくり

(4)農林水産資源  
のブランド化

- ①地域の食文化継承による地域振興
- ②高齢農業者の行きがづくり
- ③地域資源を活用した農山村集落の活性化

(5)次代を見据え  
た自治機能とコ  
ミュニティ機能

- ①時代に即した情報伝達手段の構築
- ②地域コミュニティの基盤強化

(6)海・山・自然  
豊かに暮らしつ  
づけられる環境

- ①資源を活かした地域活力の創造
- ②地域に即した交通手段の確保
- ③次代を担う人材の育成
- ④多様な協働による克雪・利雪・親雪の推進
- ⑤高齢者を地域でささえあう環境づくり

## 新 地域振興計画（案）

### 基本方針

### 主な施策

ア あつみ温泉  
と道の駅を拠点  
とした地域振興

- ① あつみ温泉街の滞留拠点整備による魅力の向上
- ②あつみ温泉の賑わいの創出
- ③道の駅移転整備を活かした地域産業の活性化
- ④既存道の駅「あつみ」しゃりんの利活用
- ⑤日沿道延伸を生かした鼠ヶ関周辺の活性化

イ 自然・歴  
史・文化を生か  
した交流人口、  
関係人口の拡大

- ①体験型観光や教育旅行の受け入れ拡大促進の支援
- ②関川地区活性化計画※に基づく取組の支援
- ③地域を離れた人材や地域と多様な関わりや思いを持つ人材が、地域を支援できる仕組みづくり

ウ 地域特性を  
活かした農林水  
産業の振興

- ①焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」等の在来作物のブランド化
- ②直活動組織の活性化と担い手となる経営体への農地集積
- ③伝統的工芸品「羽越しな布」の振興と少量多品種の農林水産物の生産振興

エ 海・山・自  
然豊かに暮らし  
続けられる環境

- ①集落ビジョンの策定を促し、ビジョンに基づく自治機能や地域コミュニティ活動の拠点施設を維持する取組を支援
- ②温海地域内にある既存施設、遊休資産や空き家の利活用
- ③地域に適した公共交通網の形成と遠距離通学となっている高校生等世帯に対する支援
- ④高齢者がこれまで培ってきた経験や能力を生かし、いきいきと暮らせる環境づくりの推進
- ⑤生活環境の維持向上を目指した地域ささえあい活動の推進
- ⑥保育園から学校まで一貫した生きる力を育む教育の推進

(単位:千円)

No.	事業名	事業趣旨・内容	事業費	備考	担当課
<b>1. あつみ温泉の魅力の向上と賑わい創出</b>					
1	あつみ温泉ばら園整備事業	開園から50年以上経過し老朽化が進んだ「あつみ温泉ばら園」を改修し、あつみ温泉の観光拠点、市民の憩いの場としてのリニューアルを進める。	51,600	※温海公園整備事業予算	産業建設課
<b>2. 日沿道延伸を活かした鼠ヶ岡周辺地域の活性化</b>					
2	温海地域水産物販売実証実験事業【新規】	新道の駅において「海・魚」のブランドイメージ構築のため、鮮魚販売の実証実験を行い、消費者ニーズの把握と評価検証により魅力創造を図る。	658	団体等への補助	産業建設課
<b>3. 自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大</b>					
3	あつみ体験旅行推進事業	豊富な地域資源、山岳資源を活かした体験型観光と、SDG'sの視点を取り入れた教育旅行を推進するための活動を支援する。	2,450	団体等への補助	産業建設課
4	日本国登山イベント実施事業【新規】	標高555mの日本国に因み、令和5年5月5日開催する登山交流イベント開催を支援し、日本国の知名度向上と交流人口の拡大及び山岳観光の礎を構築する。	555	団体等への補助	産業建設課
5	温海地域保育留学による関係人口創出事業【新規】	首都圏在住で、子どもの教育に熱心な親世代に、自然豊かな地での保育、体験の場を提供し、親子と温海地域との関わりしるを作り、移住・二地域居住を目指す。	3,189	団体等へ委託あつみ福祉会との連携事業	総務企画課
6	温海地域魅力創造発信事業	地域おこし協力隊をあつみ観光協会に配置し、温海地域の地域資源を活用した観光コンテンツの造成により、地域の魅力発信の取組を支援する。	6,648	地域おこし協力隊の配置(委託)	産業建設課
7	温海地域教育環境充実事業	地域を支える人材の確保として、地域おこし協力隊を導入し、あつみ地域未来塾の拡大や生きる力を育む非認知能力を伸ばす教育を進め、温海地域の教育環境の充実を図る。	5,335	地域おこし協力隊の配置(委託)	総務企画課
8	温海地域支援ネットワーク推進事業	地域を離れても関係人口として地域と関わる仕組みを構築し、若者の地元回帰を目指す。また、新たな「地域づくりの担い手」となる人材の受け入れを進め、地域の活性化を図る。	186		総務企画課
<b>4. 農林水産資源のブランド化</b>					
9	温海地域在来作物振興事業	「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」などの在来作物を活用した地域振興に係る取組を支援する。	1,426	団体等への補助	産業建設課
10	温海地域小ロット農産物生産振興事業	集落内や山間の畑で生産されている少量多品目農産物(小ロット農産物)の地産地消と販売活動の活性化に取り組む団体の活動を支援し、農家所得の向上と高齢農家の生きがいづくりに資する。	500	団体等への補助	産業建設課
11	温海地域伝統的工芸品振興事業	国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の後継者育成や原材料の確保、需要の拡大等に資する取組を支援し、保存・伝承を図る。	1,091	団体等への補助	産業建設課
<b>5. 次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化</b>					
12	温海地域集落ビジョン策定支援事業【新規】	各自治会役員や集落住民を対象にビジョン策定に向けた研修会を行うなど、ビジョン策定の機運を高め、策定の取組を支援する。	300		総務企画課
<b>6. 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備</b>					
13	温海地域養蚕環境整備事業	養蚕に取り組む団体を支援し、繭生産のみならず、蚕の新たな活用と不可価値の創造を通じ、高齢者の生きがいづくりにつなげる。	783	団体等への補助	総務企画課
14	温海地域自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業	温海地域の自然を活用し、特色ある教育環境、子育て環境確保により、子育て世代も安心して暮らし続けられる基盤づくりを進めるとともに、交流・関係人口の構築を図る。	1,024		総務企画課
15	温海地域公共交通網形成事業	路線バスに代わる新たな移動手段を構築するため、令和2年10月から乗合タクシーの試験運行を実施している。その検証をもとに地域に適した公共交通網を構築し、令和5年10月からの本格運行を目指す。	24,070	※交通輸送対策事業予算団体等への補助	総務企画課
16	温海地域高等学校等生徒通学費支援事業	温海地域は、地理的要因により高校生の通学費負担が大きいため、通学に要する費用の一部に対し支援を行い、定住促進を図る。 ※ 過疎地域である温海、朝日両地域で実施	3,900	高校生等生徒保護者への補助	総務企画課